

平成 27 年度

事 業 報 告 書

公益社団法人 千島齒舞諸島居住者連盟

# 事業報告書

平成 27 年度事業計画に基づき次のとおり事業を実施したので、その概要を報告する。

## 1 北方領土返還要求運動の推進

北方領土返還要求運動の推進を図るため、関係機関及び関係団体と連携し次の事業を行った。

### (1) 北方領土返還要求署名運動の推進

#### ア 署名活動の推進

北方領土の返還に向けた国民世論の結集を図るため、関係機関及び関係団体と連携し北方領土返還要求署名活動を行った。

##### ① 北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議の開催

開催期日等：6月30日(火) 札幌市 出席者：15名

参加団体：公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会ほか 10団体

##### ② 北方領土返還要求署名活動の実施

平成 27 年度署名者数	平成 27 年度末累積署名者数	摘 要
623,049	87,651,265	平成 27 年度関係機関・団体別署名 収集数は巻末資料 1 参照

#### イ 国会請願及び政府・国会要請の実施

北方領土の早期返還及び元居住者の援護対策の推進等を図るため、政府及び国会に対し要請を行った。

##### ① 国会請願

北方領土の早期返還の実現を期し、衆・参両議院に 160 万人分の署名を添えて請願を行った。

請願期日	請 願 先	場 所	摘 要
6月15日(月)	衆議院議長 大島 理森 出席議員 衆議院外務委員会 委員長 土屋 品子 ほか 衆議院沖縄及び北方問題に関する 特別委員会 委員長 古川 元久 ほか	衆議院 第1議員会館	(紹介議員) 宮腰 光寛 鷺尾 英一郎 下地 幹郎 稲津 久 赤嶺 政賢 玉城 デニー
6月15日(月)	参議院議長 山崎 正昭 出席議員 衆議院外交防衛委員会 委員長 片山 さつき ほか 参議院沖縄及び北方問題に関する 特別委員会 委員長 風間 直樹 ほか	参議院 議員会館	(紹介議員) 末松 信介 藤田 幸久 河野 義博 儀間 光男 紙 智子 吉田 忠智

## ② 政府要請

北方領土返還促進に関する要請を行った。

請願期日	請 願 先	場 所	摘 要
6月15日(月)	内閣総理大臣 安倍 晋三 内閣府北方対策担当大臣 山口 俊一 国土交通副大臣 西村 明宏 外務大臣政務官 藪浦 健太郎	総理大臣 官邸	国会請願に併せての要請

## (2) 北方領土問題早期解決の要請

北方領土の早期一括返還、元居住者の権益保護、後継者の育成強化などについて政府及び国会等に要請を行った。

要請期日等	主 な 要 請 事 項	要 請 先	要 請 者
7月29日(水) 東京都	○北方領土に係る諸問題の早期解決	藪浦外務大臣政務官 鈴木外務省欧州局審議官 徳田外務省欧州局ロシア課長 長谷川内閣府広報官 山本内閣府北方対策本部審議官 道選出国会議員	副知事 理事長 北方同盟会長
10月1日(木) 東京都	○北方墓参の円滑な実施並びに 北方領土の早期返還	菅 官房長官 城内外務副大臣	知事 理事長 専務理事
10月1日(木) 東京都	○北方領土墓参の円滑な実施	林 外務省欧州局長 徳田外務省欧州局ロシア課長 山口内閣府北方対策担当大臣 石原内閣府審議官 山本内閣府北方対策本部審議官	理事長 専務理事
10月15日(木) 根室市	○北方領土問題の早期解決	徳田外務省欧州局ロシア課長	副理事長(河) 根室管内各支部長 青連協会会長
10月16日(金) 東京都	○北方領土問題の早期解決	島尻内閣府北方対策担当大臣 石原内閣府審議官	理事長 副理事長(河) 専務理事
10月16日(金) 東京都	○自由訪問の円滑な実施	山本内閣府北方対策本部審議官 永岡外務省欧州局ロシア課補佐	理事長 専務理事
11月13日(金) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	島尻内閣府北方対策担当大臣 伊東農林水産副大臣	副理事長(河) 専務理事 根室管内各支部長 根室管内各副支部長 根室管内各青年部長

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
12月17日(木) 根室市	○北方領土問題の早期解決	上月駐ロシア連邦日本国 特命全権大使	理事長 副理事長(河) 専務理事 根室管内各支部長 根室管内各青年部長 根室支部副支部長等
2月7日(日) 東京都	○北方領土問題の早期解決	安倍内閣総理大臣	理事長 児玉理事 松原理事 他

### (3) 北方領土問題に関する研修

#### ア 北方領土問題セミナー

戦後70年事業の取組として、北方領土問題を巡る現状や歴史的経緯等に対する理解と認識を深めるため、理事、監事及び一般住民を対象とするセミナーを開催した。

開催期日等	内 容
4月22日(水) 札幌市 出席者 48名	①講演 演題：「ウクライナ危機後の日露関係の現状と展望」 講師：防衛省防衛研究所地域研究部長 兵頭 慎治 氏 ②質疑等

#### イ 北方領土問題地域学習会

北方領土問題への理解と認識を深めるため、各地域の元島民等や地域住民を対象に地域学習会を開催した。

主管支部	開催期日等	内 容
函館支部	11月3日(火) 函館市 出席者 68名	①講演 演題：「函館、根室、札幌から見る北方領土」 講師：北海道新聞社編集局報道センター 仁科 裕章 氏 ②元島民による語り部 木元 護 氏 (国後島)
関東支部	3月14日(月) 東京都 出席者 64名	①講演 演題：「昨今のロシア情勢と北方領土問題」 講師：NHK解説主幹 石川 一洋 氏

#### ウ 島民組織代表者会議

元島民の立場から、北方領土問題の現状等や自由訪問事業等について協議検討し、相互の連携を深め北方領土問題への理解と協力を得るため、代表者会議を開催した。

開催期日等	内 容
10月7日(水) 根室市 出席者 20名	①平成27年度における主要事業の実施(予定)状況 ②平成27年度自由訪問事業の実施状況 ③平成27年度北方領土墓参・北方四島交流の実施状況 ④北方領土関連資料保存整備事業 ⑤平成28年度自由訪問事業等の実施箇所検討資料(案) ⑥会費未納会員に係る取組 ⑦「戦後70年一言キャンペーン」のお願い

## エ 指導者養成研修会

北方領土問題について一般国民の理解と協力を得ることを推進するため、各支部の役員等を対象に返還運動のあり方、当連盟の実施事業等について検討協議する研修会を開催した。

開催期日等	内 容
5月26日(火) 札幌市 出席者 28名	①北方領土返還要求運動の推進 ②北方領土返還の啓発 ③後継者の育成 ④組織基盤の強化

## (4) 北方領土関連資料の収集・保存

元島民等が所有する北方領土関連資料を収集・保存するとともに、北方四島における昔と今を写真で比較したパネルを追加作成した。

また、一般住民に解りやすく北方四島を紹介するため、既存の戦前パネルに村名や地図、箇所の説明等を加え、各地でパネル展示を開催した。

## (5) 地域活動の推進

それぞれの地域で実施している北方領土返還要求運動を支援するため、千島連盟各支部へ活動交付金を交付し、また、青年部を設置している支部には、後継者による返還要求運動を推進するための活動交付金を交付し、支部における地域活動を推進した。

## (6) 北方領土返還要求運動各種大会等への参画

関係機関及び関係団体が実施する北方領土返還要求運動に参画した。

行 事 名 等	行 事 名 等
8月2日 北方領土返還要求根室市民大会(根室市)	1月24日 第30回“北方領土を考える”高校生弁論大会(札幌市)
8月16日 第34回北方領土ノサップ岬マラソン大会(根室市)	2月5日 第67回さっぽろ雪まつり北方領土返還要求署名活動
8月28日 北方領土早期返還祈念植樹(札幌市)	～11日 (札幌市)
8月28日 2015北方領土返還要求北海道・東北国民大会(札幌市)	2月5日 平成28年「北方領土の日」祈念大阪府民大会(大阪市)
8月31日 第11回北方領土まで歩こう会(根室市)	2月7日 平成28年北方領土返還要求全国大会(東京都)
9月13日 連合「2015平和行動in根室」(根室市)	2月7日 2016北方領土フェスティバル(札幌市)
11月11日 第34回北方領土返還要求山形県民大会(新庄市)	2月7日 2016「北方領土の日」根室管内住民大会(根室市)
12月1日 北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発(東京都)	

## 2 北方領土問題に関する啓発

北方領土返還要求運動を啓発するため次の事業を行った。

### (1) 啓発活動の推進

#### ア 各種啓発事業の実施

地域住民等に、北方領土問題への理解と関心を深めてもらうための啓発活動として、千島連盟の各支部を中心とした地域において、啓発資料の作成、「語り部」等による講演会、パネル展示、イベント会場等での署名活動、インターネット利用した北方領土検定など、各種啓発事業を行った。

また、戦後70年の節目の啓発事業として、根室管内1市4町において「戦後70年北方領土問題を考える集い」を北方領土問題対策協会と共催で開催するとともに、「一言キャンペーン事業」として元島民等からメッセージを募集し、ホームページなどで公開した。

#### イ 啓発推進員の配置

地域住民等に、北方領土問題への理解と協力を得るため、函館、オホーツク、釧路、別海町、中標津、標津、羅臼及び富山の8支部に「啓発推進員」を配置し、啓発活動や元島民及び後継者の返還要求運動への参加促進を図った。

### (2) 広報紙の発行

返還要求運動や啓発事業などの情報提供を行うため、「返せわれらが故郷」(234号、235号、236号)を各4,200部発行し、会員及び関係機関・関係団体等のほか、希望する一般住民へ配布した。

### (3) 「北方領土の語り部」事業

#### ア 語り部の育成

元島民後継者が元島民の思いを語り継ぐ「語り部」の重要性を認識し、その役割を担うよう育成するため講習会を行うとともに、地域住民を対象に発表会を行った。

対象支部	開催期日等	出席者	語り部
羅臼支部 標津支部	11月8日(日) 羅臼町	元島民等 16名 一般参加者 14名	元島民：高岡 唯一 氏 (多楽島) 後継者：後藤 瑞穂 氏 (志発島三世) 後継者：平藤 亮 氏 (志発島三世) 後継者：黒澤 哲也 氏 (国後島二世)
十勝支部 釧路支部	12月6日(日) 帯広市	元島民等 20名 一般参加者 33名	元島民：安田 愛子 氏 (択捉島) 後継者：佐藤 一郎 氏 (国後島二世) 後継者：堀江 則男 氏 (国後島二世)

#### イ 語り部事業の実施

元島民が北方領土への望郷の思いや四島での貴重な体験などを語り伝え、北方領土問題や北方領土返還要求運動に対する国民意識の高揚を図るため、関係機関及び関係団体と連携し、戦後70年事業の取組として「語り部」事業を道内外で実施した。

区分	開催期日等	共 催	出 席 者	語 り 部
道内	9月10日(木) 帯 広 市	北海道	帯広市立大空中学校 2年生：58名	安田 愛子 氏 (択捉島)
	11月4日(水) 札 幌 市		藤女子大学 教員志望者：40名	小田島梶子 氏 (色丹島)
道外	6月11日(木) 宮崎県宮崎市	全国地域婦人団体連絡協議会 宮崎県地域婦人連絡協議会	参加者：80名	児玉 泰子 氏 (志発島)
	11月12日(木) 福島県会津坂下町	全国地域婦人団体連絡協議会 河沼郡婦人会連絡協議会	参加者：110名	三船志代子 氏 (択捉島)
	11月12日(木) 秋田県湯沢市	全国地域婦人団体連絡協議会 湯沢市連合婦人会	参加者：160名	野口 繁正 氏 (国後島)
	12月9日(水) 栃木県宇都宮市	全国地域婦人団体連絡協議会 栃木県地域婦人会連絡協議会	参加者：80名	山本 昭平 氏 (択捉島)

## ウ 語り部の派遣

北方領土問題への関心と北方領土返還要求運動に対する意識の高揚を図るため、「北方領土の語り部」として元島民や後継者を関係機関及び団体等が実施する研修会、学習会等に派遣した。

〈派遣状況〉

派遣事業名（主催）	派遣数	派遣事業名（主催）	派遣数
北方四島交流事業等研修会（道推委・北対協）	15名	各支部等による派遣	134名
北方領土青少年等現地視察支援事業（各県民会議）	15名	後継者育成・啓発素材アウトプット事業（北海道）	8名
北海道教育旅行誘致事業（道観光振興機構）	4名	その他	51名
元島民の北方領土を語る会（北方同盟）	10名	合 計	237名

## 3 北方地域元居住者等の援護対策の推進

元居住者の援護対策の推進を図るため、次の事業を行った。

### (1) 援護問題対策事業

#### ア 援護問題等専門委員会

元居住者等の援護問題について幅広く研究討議を行うため、援護問題等専門委員会を開催するとともに、国及び国会議員等への要請を行った。

##### ① 援護問題等専門委員会の開催

開催期日等	協 議 事 項 及 び 協 議 結 果
第1回 7月21日(火) 書面会議	〈協議事項〉 ○委員長・副委員長の互選 ○委員会の開催日程 ○委員会としての政府・国会等への要請（意見交換）日程

開催期日等	協議事項及び協議結果
<p style="text-align: center;">第2回 12月9日(水) 札幌市 出席者 委員7名</p>	<p>(協議事項) ○北対協の融資枠の拡大 ○財産権の不行使に対する補償</p> <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後70年経ち、財産権を行使出来なかった事に対する補償については、補償が実現するまで言い続けなければならない。</li> <li>・連盟が求めている融資対象者の枠拡大は、「沖縄及び北方問題に関する特別委員会」の委員を中心に引き続き強く要望する。</li> <li>・北方領土を語る「語り部」は、連盟事業の大事な柱であり、北方領土問題を風化させないためにも位置付けをしっかりとすべきである。</li> </ul> <p>(意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、元島民が存命のうちに何とか解決したいと考えてきたが、戦後70年経ち、元島民は減少しており、2世に頼らざるを得ないと言うところまで来てしまった。返還の道筋もつけられないまま、2世にバトンタッチするのはとても心苦しいが、内閣府には是非とも方向性を付けてほしい。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">第3回 3月9日(水) 札幌市 出席者 委員7名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧漁業権補償については、北方領土は何ら補償されなかった。元島民のことを考えると、果たしてこれで良いのかと思って欲しい。</li> </ul> <p>(協議事項) ○北対協の融資枠の拡大 ○財産権の不行使に対する補償</p> <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本委員会では「財産権の不行使」に対する検討の継続を確認している。</li> <li>・これまでに札幌青年司法書士会の協力を得て、「北方領土の権利と財産」について色々と勉強してきたが、やはり法律に詳しい専門家を呼んで再度意見交換をしてはどうか。</li> </ul>

## ② 国及び国会議員等への要請活動

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
<p>3月22日(水) 東京都</p>	<p>○財産権の不行使に対する補償 ○北対協融資制度の充実</p>	<p>内閣府北方対策本部審議官 衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員長、理事ほか</p>	<p>援護委員長 援護副委員長 専務理事</p>

## イ 援護対策相談事業

北方領土問題に関連する諸問題の一つである元居住者等の戸籍、在島残置財産、北対協融資制度等の援護問題について、相談・助言を行った。

### ① 戸籍、在島残置財産相続に係る指導、助言

元居住者等の戸籍、在島残置財産である土地、建物の相続申出手続き等について指導、助言を行った。



② 北対協融資制度利用に関する相談、助言

元居住者等の援護措置として設けられている北対協融資制度の利用に関し、相談、助言を行った。

③ その他援護問題に関する指導、助言

元島民の援護対策の推進を図るため、役職員等が各支部を訪問し、元居住者に係る援護問題の現状等を把握するとともに、解決に向けての指導や助言を行った。

訪 問 日	訪 問 先	訪 問 日	訪 問 先
3 月 28 日 (土)	標 津 支 部	5 月 9 日 (土)	別 海 町 支 部
4 月 4 日 (土)	オ ホ ー ツ ク 支 部	5 月 10 日 (日)	道 北 支 部
4 月 5 日 (日)	函 館 支 部	5 月 17 日 (日)	十 勝 支 部
4 月 17 日 (金)	中 標 津 支 部	6 月 14 日 (日)	富 山 支 部
4 月 19 日 (日)	根 室 支 部	2 月 7 日 (日)	関 東 支 部
4 月 25 日 (土)	羅 臼 支 部	3 月 6 日 (日)	厚 岸 支 部
4 月 25 日 (土)	釧 路 支 部	3 月 13 日 (日)	浜 中 支 部
4 月 26 日 (日)	道 央 支 部		

(2) 北方四島への自由訪問の実施

人道的見地及び北方領土問題解決のための環境整備の一環として、元島民とその家族による北方四島への自由訪問事業を次のとおり実施した。

区分	訪 問 地	期 間	参 加 者 数	使用船舶	備 考
第 1 回	色丹島 能登呂 キリトウシ 相見崎、チボイ	5. 19 ～ 5. 22	元島民等 (44) 子の配偶者等 ( 4) 同 行 者 (11) 計 (59)	えとぴりか	ロシア側の都合により中止
第 2 回	択捉島 グヤ 入里節 十五夜萌	6. 5 ～ 6. 8	元島民等 42 子の配偶者等 8 同 行 者 11 計 61	えとぴりか	悪天候のため、1日遅らせて6月6日に出港
第 3 回	国後島 ラシコマンベツ 植内 植沖	6. 26 ～ 6. 29	元島民等 43 子の配偶者等 2 同 行 者 11 計 56	えとぴりか	
第 4 回	択捉島 ウエンバフコツ 内保	7. 10 ～ 7. 13	元島民等 47 子の配偶者等 5 同 行 者 11 計 63	えとぴりか	
第 5 回	国後島 乳呑路 札文磯	7. 31 ～ 8. 3	元島民等 48 子の配偶者等 5 同 行 者 11 計 64	えとぴりか	

区分	訪問地	期間	参加者数	使用船舶	備考
第6回	志発島 カフェノツ	8.26 ～ 8.28	元島民等 (47) 子の配偶者等 (6) 同行者 (11) 計 (64)	えとぴりか	悪天候のため、 根室港出港出来 ず中止
第7回	国後島 東沸	9.7 ～ 9.9	元島民等 39 子の配偶者等 5 同行者 11 計 55	えとぴりか	
計	2島11箇所		元島民等 219(91) 子の配偶者等 25(10) 同行者 55(22) 計 299(123)		

### (3) 北方領土墓参事業

人道的見地から北海道が実施している北方領土墓参について、北海道からの委託事業として、団員選考等の業務を行うほか、当連盟事業として訪問墓地での慰霊、法要を行った。

区分	墓参地	期間	参加者数	使用船舶	備考
第1班	国後島 ブニ、オタトミ 古丹消、ハッチャス	7.17 ～ 7.20	遺族 31 同行者 14 計 45	えとぴりか	
第2班	多楽島 フルベツ ヒラリウス	8.31 ～ 9.2	遺族 (40) 同行者 (14) 計 (54)	えとぴりか	ロシア側の都合 により中止
計	1島4箇所		遺族 31(40) 同行者 14(14) 計 45(54)		

### (4) 北方四島交流事業（ビザなし訪問）

北方領土問題解決に向けた環境づくりのため、「北方四島交流北海道推進委員会」及び「北方領土問題対策協会」が実施する北方四島交流事業（訪問）に次のとおり参加した。

実施主体	期間	参加者数		訪問先	使用船舶	備考
			うち 元島民等			
推進委	5.15～5.18	(64)	(13)	国後島 色丹島 国後島・択捉島 択捉島	えとぴりか	ロシア側の都合により中止  《後継者》 《教育関係者・青少年》
	8.7～8.10	61	10			
	8.21～8.24	65	15			
	9.25～9.28	58	1			
小計	4回	184(64)	26(13)			

実施主体	期 間	参加者数		訪問先	使用船舶	備 考
			うち 元島民等			
北対協	7. 2～7. 6	64	9	国後島・択捉島	えとびりか	《北連協》 《県民会議》 《教育関係者・青少年》 《後継者》悪天のため中止
	7. 23～7. 27	61	5	国後島・色丹島		
	8. 14～8. 17	61	1	国 後 島		
	9. 11～9. 14	(59)	(7)	色 丹 島		
小計	4 回	186 ( 59)	15 ( 7)	—	—	
合計	8 回	370 (123)	41 (20)	—	—	

※各回に「北方領土の語り部」として元島民1名が参加

## 4 後継者の育成

今後の返還運動の担い手となるべき後継者の育成を図るため、次の事業を行った。

### (1) 後継者活動の推進

#### ア 後継者活動委員会

元島民後継者の活動を促進し、後継者の育成を図るため、後継者事業全般について協議検討を行う委員会を開催した。

開催期日等	内 容
5月24日(日) 札幌市 出席者 委員19名	①企画運営委員会委員の選任について ②北方領土返還要求後継者街頭啓発事業について ③北方領土クイズの問題の追加について ④その他

#### イ 後継者街頭啓発

後継者対策の強化及び国民の北方領土問題に対する理解と認識を深め、国民世論の高揚を図ることを目的に、戦後70年事業として拡充し、次の事業を行った。

開催期日等	イ ベ ン ト 名
3月5日(土) ～6日(日) 札幌市 後継者等 34名	「学ぼう!!北方領土」 パネル展示等(基礎知識、ポスターコンテスト入賞作品、活動報告等)、語り部、署名コーナー、クイズコーナー、キッズコーナーなど

#### ウ 後継者の派遣研修

北方領土問題に対する視野を広め、地域活動のリーダーを育成するため、後継者の派遣研修を行った。

派 遣 日	派遣先	派遣者
12月1日(火)	北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発(東京都)	5名

派遣日	派遣先	派遣者
2月7日(日)	平成28年北方領土返還要求全国大会(東京都)	5名

## (2) 後継者研修事業

### ア 後継者活動促進全国セミナー

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者や若い世代の一般市民を対象に、北方領土問題への理解と認識を深めるためのセミナーを開催するとともに、元島民後継者間の連携強化及び後継者活動の促進を図るため、意見交換を行った。

開催期日等	内 容
10月3日(土) ～4日(日) 札幌市 出席者 33名	①講演 演題：「どうなる北方領土交渉」 講師：NHK解説委員 山内 聡彦 氏 ②モスクワ派遣報告 ③元島民後継者対策事業等について ④後継者活動委員会を中心とした委員会の開催状況について ⑤意見交換

### イ 後継者研修会

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者が、北方領土問題及び北方領土返還要求運動の推進等について協議・検討するとともに、さっぽろ雪まつり会場で署名活動を行った。

開催期日等	内 容
2月10日(水) ～11日(木) 札幌市 出席者 38名	①元島民による語り部 木元 護 氏(国後島) ②世代別グループディスカッション テーマ：「次代へつなぐ・ひろげる返還要求運動の輪と和」 ③署名啓発活動(さっぽろ雪まつり会場)

### ウ 北方領土問題現地青年の集い

北方領土問題への認識を深めるため、北方領土の隣接地域において、元島民後継者が企画した研修会を開催した。

開催期日等	内 容
6月13日(土) 釧路市 出席者 47名	①各支部後継者の声 ②講演 演題：「根室から見る北方領土」 講師：北海道新聞社根室支局 丸山 格史 氏

## (3) 後継者キャラバン事業

戦後70年事業として、各支部の後継者によるキャラバン隊を編成し、訪問地における当該自治体首長等へのアピール、パネル展及び署名活動等を通して、北方領土問題の啓発と後継者活動の活性化を図るとともに、「北方領土返還要求北海道・東北国民大会」において北方領土返還運動に取り組む強い決意を表明した。

実施期間等	訪問先
8月28日(金)～31日(月) 隊員数 22名	富山県富山市、黒部市

#### (4) 北方領土青少年洋上セミナー

若い世代の北方領土問題への理解と意識向上を図るため、一般の青少年を対象に、語り部や洋上視察等を通して北方領土問題について学習する洋上セミナーを元島民後継者が企画し開催した。

開催期日等	参加者	内容
7月19日(日) 羅白町	元島民後継者 23名 北海道内在住の一般青少年等 101名	①学習会「北方領土のお話」 羅白町立羅白小学校教諭 後藤 瑞朋 氏 ②高校生による学習会 ③洋上視察 (航路：羅白港～知床岬～羅白港)

## 5 千島会館の運営

北方領土問題に関する啓発・研修及び元居住者等の援護・組織活動の拠点施設として千島会館の供用を図るとともに、千島会館利活用運営検討会を開催した。

〈千島会館の利用状況〉

【利用回数】 121回  
【利用人数】 延べ 2,138名

## 6 医療支援促進事業の実施

外務省との委託契約に基づき、我が国政府が、平和条約締結交渉のための環境整備に資することを目的として実施している北方四島住民支援事業（患者受入事業、医師・看護師等研修事業等）について、北方四島の医療事情及び北方四島の患者等を受け入れている国内医療機関等の状況並びに北方四島住民に対する中・長期的な医療支援という観点から、同事業の枠内で北方四島との遠隔医療について、その可能性を調査の上、医療支援事業に関する提言を含む報告書を外務省に提出した。

## 7 組織基盤の強化

連盟における組織基盤の強化と地域活動の推進を図るため、次の事業を行った。

### (1) 北方領土返還要求運動推進功労者等の表彰

#### ア 内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策担当）による表彰

多年にわたり北方領土返還運動に尽力し、顕著な功績のあった者が表彰された。

【受賞者】

・白田 春美（根室支部） ・岩崎 忠明（道央支部） ・松原 勇（富山支部）

#### イ 千島連盟理事長による表彰

北方領土返還運動の推進、連盟の組織強化及び事業の推進に顕著な功績のあった者に対する表彰を行った。

【受賞者】

- ・横濱 忠 三 (道央支部)      ・飯 田 隆 (函館支部)      ・菅 原 巖 (オホーツク支部)
- ・小田桐 進 (オホーツク支部)      ・西 山 良 一 (標津支部)      ・黒 田 義 雄 (標津支部)
- ・山 崎 英 司 (標津支部)      ・松 崎 紀 子 (標津支部)      ・伊 藤 新 介 (別海町支部)
- ・高 橋 利 雄 (別海町支部)      ・池 田 實 (別海町支部)      ・鈴 木 咲 子 (根室支部)
- ・上 松 健 吾 (根室支部)      ・工 藤 久 男 (根室支部)      ・三 上 洋 一 (関東支部)
- ・川 端 元 明 (富山支部)

(2) 会員加入の促進

連盟組織の維持向上を図るため、各支部及び「島民の会」との連携の下に未加入となっている元居住者及び後継者に対し会員への加入促進を行った。

【平成 27 年度新規加入者数】      172 名 (元島民 37 名、後継者 135 名)  
 (会員数の状況は巻末資料 2 参照)

(3) 通常総会等の開催

業務の適切かつ円滑な運営を図るため、通常総会及び理事会等を開催した。

ア 通常総会

開催期日等	議 題
5 月 25 日(月) 札 幌 市 出席者                      95 名 委任状及び議決権行使書提出者 1,680 名 計                              1,775 名	①平成 26 年度事業報告に関する件 ②平成 27 年度事業計画及び平成 27 年度収支予算に関する件 ③平成 26 年度収支決算に関する件 ④公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟会費規程の一部改正(案)に関する件 ⑤理事選任に関する件 ⑥監事選任に関する件

イ 理事会

開催期日等	議 題
第 1 回 4 月 23 日(木) 札 幌 市 出席者 20 名	①平成 27 年度通常総会の招集に関する件 ②平成 26 年度事業報告に関する件 ③平成 26 年度収支決算に関する件 ④平成 27 年度通常総会の進行次第(案)について ⑤平成 27 年度通常総会の提出議案(議案書)について ⑥宣言(案)及び決議(案)について ⑦理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況報告に関する件 ⑧千島連盟理事長表彰に関する件 ⑨平成 27 年度監事監査計画に関する件
第 2 回 5 月 25 日(月) 札 幌 市 出席者 23 名	①理事長、副理事長及び専務理事の互選について ②企画運営委員会委員の選任について ③名誉顧問及び顧問の選任について

開催期日等	議 題
第3回 2月24日(水) 札幌市 出席者 24名	①理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況の報告に関する件 ②平成28年度事業計画(案)に関する件 ③平成28年度収支予算(案)に関する件 ④特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針(案)に関する件 ⑤公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟特定個人情報取扱規程(案)に関する件 ⑥公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟特定職員就業規則の一部改正(案)に関する件

## ウ 監事監査

実施期日等	実施監事	監 査 対 象
第1回 4月20日(月) 千島会館	金田 慎吾 角鹿 泰司	平成26年度千島会館の業務執行及び財産並びに会計の状況
第2回 4月21日(火) 連盟事務局	金田 慎吾 角鹿 泰司	平成26年度千島連盟(千島会館を除く)の業務執行及び財産並びに会計の状況

## エ 企画運営委員会

開催期日等	議 題
第1回 8月6日(木) 札幌市 出席者 7名	①自由訪問、北方領土墓参、ビザなし訪問について ②援護問題等専門委員会委員の委嘱について ③北方四島支援促進事業の委託契約について ④内閣府特命担当大臣表彰について ⑤会費未納による会員資格喪失者の対応について ⑥平成27年度「北方領土の語り部」登録者について ⑦平成27年度「北方領土の語り部」事業について ⑧「戦後70年北方領土問題を考える集い」について ⑨千島連盟役員による中央要請について ⑩北方領土関連資料情報発信事業企画運営委員会所管事項について
第2回 12月11日(金) 札幌市 出席者 7名	①請願・要請等の状況について ②平成28年度予算要求の概要について ③会費未納会員に係る取組について ④平成28年度自由訪問事業計画(案)について ⑤戦後70年一言キャンペーンについて ⑥千島連盟における今後の検討事項について ⑦北方領土関連資料情報発信事業企画委員会所管事項について
第3回 3月11日(金) 札幌市 出席者 8名	①北方四島交流代表者間協議の開催結果について ②理事長表彰について ③千島連盟における今後の検討事項について ④広報紙編集委員会所管事項について

〈資料1〉

## 平成27年度 関係機関・団体別署名収集数

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

団 体 名	署 名 収 集 数
全国自衛隊父兄会	173,546
北海道	127,478
長野県民会議	56,972
群馬県民会議	44,899
千島歯舞諸島居住者連盟	42,661
北方領土復帰期成同盟	36,381
石川県民会議	35,561
山形県民会議	31,870
岐阜県民会議	15,079
上記以外の県民会議	22,031
その他	36,571
合 計	623,049



〈資料2〉

## 平成27年度 会員数

(平成28年3月31日現在)

支部名	元島民数 28.3.31 現在	平成27年 度正会員 数	左 の 内 訳				賛助会員数		会員合計	
			新規会員数		継続会員数		団体	個人		
			元島民	後継者	元島民	後継者				
道 央	962 ( 52 )	421 ( 10 )	7 ( 1 )	21	215 ( 9 )	178	0	25	446 ( 10 )	
函 館	251 ( 11 )	90 ( 1 )	1 ( 0 )	3	56 ( 1 )	30	0	1	91 ( 1 )	
道 北	203 ( 4 )	82 ( 1 )	1 ( 0 )	7	45 ( 1 )	29	0	0	82 ( 1 )	
オホーツク	287 ( 6 )	149 ( 2 )	2 ( 0 )	0	78 ( 2 )	69	0	3	152 ( 2 )	
十 勝	196 ( 6 )	67 ( 0 )	2 ( 0 )	2	40 ( 0 )	23	0	0	67 ( 0 )	
釧 路	825 ( 45 )	209 ( 9 )	0 ( 0 )	8	140 ( 9 )	61	0	1	210 ( 9 )	
厚 岸	59 ( 1 )	64 ( 0 )	1 ( 0 )	6	31 ( 0 )	26	0	0	64 ( 0 )	
浜 中	52 ( 5 )	52 ( 3 )	0 ( 0 )	0	30 ( 3 )	22	0	1	53 ( 3 )	
根 室	1,296 ( 61 )	695 ( 9 )	5 ( 2 )	28	354 ( 7 )	308	4	24	723 ( 9 )	
別海町	127 ( 8 )	176 ( 3 )	0 ( 0 )	3	70 ( 3 )	103	2	2	180 ( 3 )	
中標津	119 ( 7 )	122 ( 2 )	5 ( 0 )	5	49 ( 2 )	63	4	12	138 ( 2 )	
標 津	77 ( 5 )	98 ( 2 )	0 ( 0 )	0	36 ( 2 )	62	0	6	104 ( 2 )	
羅 臼	106 ( 7 )	115 ( 4 )	1 ( 1 )	5	33 ( 3 )	76	2	0	117 ( 4 )	
関 東	716 ( 64 )	365 ( 8 )	1 ( 0 )	23	143 ( 8 )	198	0	2	367 ( 8 )	
富 山	499 ( 5 )	285 ( 1 )	3 ( 0 )	10	140 ( 1 )	132	1	6	292 ( 1 )	
支 部 以 外	道内	306 ( 10 )	87 ( 4 )	5 ( 2 )	2	51 ( 2 )	29	1	7	95 ( 4 )
	道外	560 ( 32 )	227 ( 8 )	3 ( 0 )	11	116 ( 8 )	97	0	11	238 ( 8 )
合 計	6,641 ( 329 )	3,304 ( 67 )	37 ( 6 )	134	1,627 ( 61 )	1,506	14	101	3,419 ( 67 )	

※元島民数及び正会員数の( )は、平成20年4月1日施行の旧漁業権者法の一部改正に伴う  
新元居住者の内数